

議会だより

Vol.
190
2017.4.18



3月の
定例会

② ふるさと復興元年
約260億円超の大型予算可決

⑩ 避難指示解除
受け入れまでの経緯

⑦ **ズバリ!! 町政を問う**
2議員が質問

⑯ 復興へのあゆみ
Step.7

真剣なまなざしで／富岡町立小学校入学式(三春町)

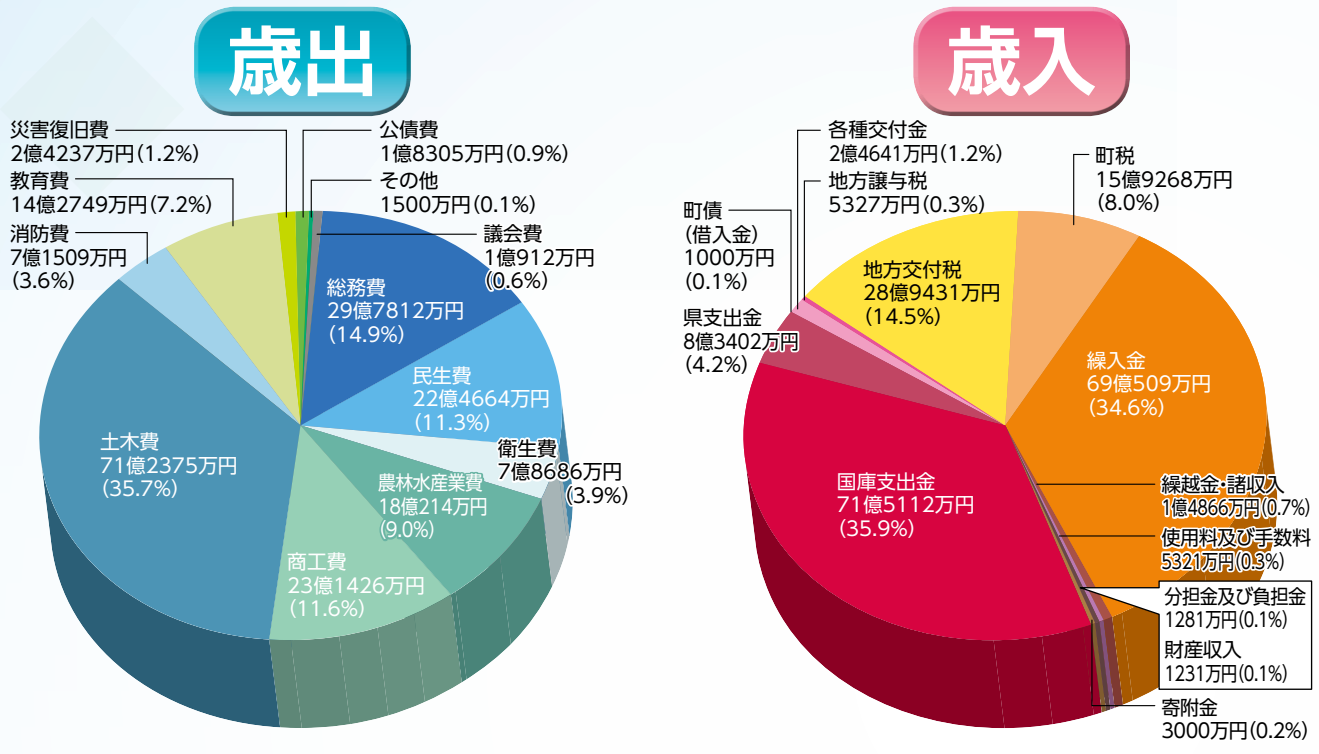
平成29年度
当初予算

ふるさと復興元年 約260億円超の

《一般会計 199億円 特別会計 62億円》

大型予算可決

一般会計 199億4389万円



定例会のあらまし

平成29年3月定例会は3月7日から10日まで4日間(9日は休会)の会期で開催しました。平成29年度一般会計及び特別会計の当初予算をはじめ、平成28年度の補正予算、条例の制定及び一部改正、人事案件、不動産の取得案件など、計40件の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。一般質問では2議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について伺いました。

《平成29年度の主な事業》

- 保健センター施設管理運営事業(衛生費) 2億4024万円
平成30年4月の業務再開に向けて、機能回復工事を行います。
- 環境衛生事業(衛生費) 1億2486万円
住宅清掃費の補助や町内の仮設トイレの管理を行います。
- 営農再開支援事業(農林水産業費) 2億7795万円
営農再開に向けた復興組合の支援や農業アクションプランの具体計画の策定を行います。
- 農地等維持修繕事業(農林水産業費) 2億5920万円
防火対策として、帰還困難区域の農地の除草を行います。
- 工業団地事業(商工費) 17億794万円
上郡・太田地区に造成する産業団地の測量設計、用地取得を行います。
- 道路新設改良事業(土木費) 3億6743万円
町内の道路、富岡駅跨線橋の新設改良工事を行います。
- 防災集団移転事業(土木費) 9億913万円
移転促進区域の土地の買い取りや移転先の整備を行います。
- 公営住宅整備事業(土木費) 35億5578万円
町内に整備する第2期災害公営住宅(曲田、栄町地区)の建設を行います。
- 富岡町防火防犯パトロール事業(消防費) 2億4964万円
避難指示の一部解除に合わせて、町内の防火防犯パトロール体制を強化します。
- 歴史民俗資料館事業(教育費) 1億2069万円
学びの森収蔵庫の修繕や町内の3D計測を行います。
- 体育施設管理事業(教育費) 3億3669万円
ふれあいドーム、テニスコート等の機能回復工事を行います。
- 各種基金への積み立て 12億9776万円
これから実施する復興事業の財源として積み立てを行います。

《工業団地事業 17億794万円》

問 官民合同チームが事業者を訪問し、聞き取りを行っている中で、富岡の産業団地で開業したいと考えている事業者がどのぐらいいるのか把握できているか。

答 企画課長
官民合同チームには、町として上郡・太田地区に約35haの産業団地を整備する計画であることをお話ししています。その情報をもとに、官民合同チームには面談を実施する中で、様々な事業者にアプローチをしていただいているという段階です。

《環境衛生事業 1億2486万円》

問 町内の仮設トイレは今後のメンテナンスがどうなるのか。

答 復興推進課長補佐
公衆トイレ近辺の仮設トイレ4か所は撤去する計画です。今後利用状況等を考慮しながら、随時撤去の検討をしていきます。

《農地等維持修繕事業 2億5920万円》

問 帰還困難区域の農地の維持管理はどのようになっているか。

答 産業振興課長
帰還困難区域の防火対策として、主に幹線道路沿いの農地の除草を昨年度に引き続き実施します。



こんなことが決まりました。

人事案件

副町長として 適任である

富岡町副町長に高橋浩一氏を選任する議案が提出され、適任であると決議しました。



高橋 浩一氏

【略歴】

昭和48年生 43歳
川俣町出身
平成8年、福島県に入庁
相双地方振興局を皮切りに、保健福祉部や総務部などを歴任。

石井賢一氏を 教育長に再任

富岡町教育委員会教育長の任期満了に伴い、引き続き石井賢一氏を教育長として適任であると決議しました。任期は、平成29年4月1日からの3年間です。



石井 賢一氏

魅力ある古里を取り戻すために全力で取り組み

町政報告要旨

「これまでの取り組み」

我が町は、平成29年4月を帰還開始目標に掲げ、様々なご支援のもと、町内の環境整備を進めるとともに、全国に避難する町民の皆さまと「ふるさと富岡」とのつながりを続けるべく、町内外に目を向け、この複合災害からの復旧・復興、そして再生に懸命に取り組んできました。

「幅広く意見を公聴」

加えて、今年度は、町政懇談会や住民座談会、そして、国主催による住民説明会等、より多くの町民の皆さまの声を直接聞くとともに、帰町検討委員会や除染検証委員会等の客観的な評価や除染効果の検証等を行ってきました。

「避難指示解除を決断」

私としましては、これまでの経過や議論を踏まえ、町内の生活環境が一定程度以上の状態になっていること、一刻も早くふるさとでの生活を望まれている方々がおられること、避難指示解除後も国が支援の継続を約束していること、そして、何よりも、これ以上の避難指示の継続は、ふるさとを未来に繋げていくことをより困難にするものと考え、帰還困難区域を除く当町の避難指示を平成29年4月1日に解除する判断をしたところです。

「古里再生に向けて」
本来のあるべき姿魅力ある古里を取り戻すためには、これまで積み重ねてきた施策をスピード感を保ちながら、持続的・発展的に進めるとともに、新たな産業の集積など未来の世代に引き継ぐ中長期を見据えた事業にも積極果敢に取り組んでいく必要がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



町政報告をする宮本町長



条例制定

復興基金条例を 制定

二次救急医療センター建設用地の造成に要する資金を基金として積立するための条例について、可決しました。

町税などを減免

平成29年度の町民税、固定資産税、国民健康保険税、介護保険料などを減免する条例について、可決しました。

震災遺産を保全

震災遺産を保全するための条例について、可決しました。

（3月定例会・原案可決）
※P11に関連記事掲載

工事契約

多目的広場 改修工事契約

富岡町多目的広場（サッカー場）改修工事の請負契約について、可決しました。

（1月臨時会
全会一致・原案可決）

指定管理者の指定

複合商業施設の 指定管理者を指定

富岡町複合商業施設の管理における指定管理者の指定について、可決しました。

（2月臨時会・原案可決）
大和リース(株)福島支店

動産の取得

施設の備品を購入

左表施設の備品を購入しました。

（1月臨時会
全会一致・原案可決）

動産の処分

大玉仮設診療所の 動産を処分

富岡町大玉仮設診療所の閉鎖に伴い、日本医師会等から無償で譲り受けた動産の処分について、可決しました。

（処分する動産）
・トレーラーハウス1式
・双葉郡医師会に無償譲渡
・ポータブルX線撮影装置
・星総合病院に無償譲渡

ふたば医療センター 事業用地を取得

県立二次救急医療施設ふたば医療センター（仮称）用地整備事業における事業用地の取得について、可決しました。

（2月臨時会
全会一致・原案可決）

災害公営住宅を取得

富岡町災害公営住宅整備事業（第2期第1工区分14戸）における住宅等の取得について、可決しました。

（3月定例会
全会一致・原案可決）

【取得住宅】
木造平屋建て11戸及び2階建て3戸
【取得予定価格】
3億8414万7360円
【契約の相手方】
大和ハウス工業(株)福島支社



曲田地区住宅外観

【工事請負契約内容】

- 名称 富岡町多目的広場改修工事
- 工期 平成29年3月24日まで
- 契約金 1億2657万6000円
- 契約相手方 長谷川体育施設(株)福島営業所

総合福祉センターの指定管理者を指定
富岡町総合福祉センターの管理における指定管理者の指定について、可決しました。

（指定管理者）
富岡町社会福祉協議会
（3月定例会
全会一致・原案可決）

対象施設	総合福祉センター	複合商業施設(さくらモールとみおか)		
備品種別	机・椅子等	カウンター・レジ台等	調理機器等	商品陳列棚等
契約金額	898万5600円	2864万682円	2354万4000円	2238万8400円
契約相手方	(株)菊地書店	(株)鈴弥洋行	(有)坪井商会	サトウ事務器機

ズバリ!!

町政を問う

2議員が質問

3月定例会の一般質問に2議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 堀本 典明 議員 8

- 町の復興に資する事業計画は
- すぐに帰町する町民の生活圏の線量を低減させる除染を求めるべき



2 遠藤 一善 議員 9

- J ヴィレッジとの連携強化を
- JFAアカデミーと富岡高校の連携方針は



動画配信中!
※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。

避難指示解除時期に対する町の判断に関する請願 不採択

○請願者

下郡山行政区 区長 石井 功
副区長 三瓶 和弘
評議員代表 橋本 昇

○請願の受理日

平成28年11月25日

○紹介議員

山本 育男 議員・安藤 正純 議員

○付託された委員会

総務常任委員会・産業復興常任委員会
※両委員会に関わる案件であるため合同審査

○要旨

国は、町内の居住制限区域及び避難指示解除準備区域について、避難指示が解除できる環境が整ったと考えており、町は平成29年4月以降の避難指示解除に向けて準備を進めている。しかし、除染が完了し、生活基盤の復旧、商業施設等の整備が進められているとはいえ、管理型処分場による農地、水質への影響や減容化施設の先行きが不透明であるなど、震災前とは程遠い状況である。よって、平成29年4月以降も当面は準備宿泊を継続し、子どもから大人まで安全安心に暮らせる環境になったと判断されるまで、国に対し、避難指示解除の最終的判断を延期するよう求めるものである。

○採択結果

不採択（総務常任委員会・産業復興常任委員会 全会一致）

○理由

「子どもから大人まで安全安心して暮らせる環境」を目指すことは大事なことであるが、現実問題として、そういった環境になるまで避難指示解除を延ばせば、町民どうしのつながりを維持し、古里を再生させることは非常に困難になると考える。また、請願の中で、水質の安全性に対する不安や減容化施設の先行きが不透明だとの意見もあるが、この2点については、議会として何度も関係機関と議論を重ね、相当程度の成果を確認している。これを受け入れることは、議会としてのこれまでの議論を否定するものである。よって『避難指示解除時期に対する町の判断に関する請願』は不採択とする。

一般会計 補正予算 31億9284万円を減額

《総額は229億5958万円に》

事業の完了、精査による減額補正が目立ちました。補正のあった主な事業は以下のとおりです。

- ・環境衛生事業費 1億62万円の減額補正
- ・営農再開支援事業費 1億623万円の減額補正
- ・商業拠点施設整備事業費 2億34万円の減額補正
- ・道路新設改良事業費 2億2909万円の減額補正
- ・防災集団移転事業費 8億3082万円の減額補正
- ・防災行政無線経費 1億9625万円の減額補正
- ・その他(事業の完了、精査による) 15億2949万円の減額補正



遠藤 一善 議員

問 Jヴィレッジとの連携強化を

答 取り組みの可能性を模索する



再整備された多目的広場

問 平成31年4月にJヴィレッジが全面再開を目指す中、震災前以上に連携を強化し、スポーツを通じた広域的な交流人口の増加に向けた施策を進めるべきでは。

答 町長 昨年10月に策定した人と町とのつながりアクションプランでは、富岡への関心、富岡との交流をもととする富岡への参画をテーマに『ふるさと』とつながる仕組みづくりを進めることとしています。

答 町長 町は、間もなく全面張りが完了する旧工事が完了する人工芝サッカー場等の充実したスポーツ施設の活用により、スポーツを通じた交流人口の拡大、増加が今後の町の重要な施策となると考えています。

答 町長 Jヴィレッジはスポーツを通じた交流の拠点として地域のスポーツ人材の育成や地域連携に寄与する施設として期待されています。

答 町長 町として、Jヴィレッジとどのような取り組みが可能であるかを模索していききたいと考えています。

答 町長 町民号は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町民号は、多くの町民が参加できるように配慮を。

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま



堀本 典明 議員

問 町の復興に資する事業計画は

答 さまざまな取り組みにチャレンジ

問 来年度以降、町の復興に資する事業計画は。

答 町長 避難指示の解除は本町本格復興の第一歩であり、ふるさとの未来を開くための新たなステージを迎えることと捉えています。

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

問 産業団地を整備する中で、そこで働く人材の確保や人材育成の問題への対策は。

答 町長 避難指示の解除は本町本格復興の第一歩であり、ふるさとの未来を開くための新たなステージを迎えることと捉えています。

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

問 子育て世代が戻りたいと思える政策を。

答 町長 町民号は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

問 再開する町民号は、多くの町民が参加できるように配慮を。

答 町長 町民号は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

問 子育て世代が戻りたいと思える政策を。

答 町長 町民号は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま

答 町長 町は、町民が一堂に会せる機会であり、富岡の現状などの情報交換ができる場ともなりま



復興推進課に窓口を一本化

問 JFAアカデミーと富岡高校の連携方針は

答 町長 富岡高校の将来像を県教育委員会と協議を進めていくべきでは。

答 町長 富岡高校を再開していくという発信をすべきでは。

答 町長 富岡高校を再開していくという発信をすべきでは。

答 町長 富岡高校を再開していくという発信をすべきでは。

全国初!

震災遺産保全条例を制定

全員協議会

②

平成29年2月28日に富岡町役場 桑野分室で全員協議会を開催し、教育総務課より富岡町震災遺産保全等に関する条例についての説明を受けました。

議員からは、震災の遺産として認定するものの範囲や保全する上での維持経費に対する指摘等が出されました。

震災遺産とは?

- ①地震・津波の痕跡
例)ろうそく岩 など
- ②被災物
例)時計 など
- ③震災対応により生じたものや景観
例)仮設住宅、フレコンバックの壁 など
- ④被災により意味を失ったものや情報
例)さくら祭りのポスター など



①折れたろうそく岩



②津波で被災した時計



③フレコンバックの壁



④さくら祭りのポスター

【震災遺産保全宣言(平成28年3月9日)】

東日本大震災と原子力災害の風化を防ぐとともに、未来・世界に教訓を発信し、経験を継承するために、富岡町に関する震災遺産の保全と活用を宣言する。

【富岡町震災遺産保全等に関する条例を制定(平成29年3月7日)】

- 東日本大震災と原子力災害が富岡町と富岡町民に及ぼした影響、教訓を発信する(風化防止)
- 富岡町が災害から復興へ向かう姿勢を発信する

問 震災遺産等の保全には維持管理費が発生すると考えられる。維持管理にかかる経費の負担についての規定はあるか。

答 教育総務課長
本条例には、文化財保護条例にあるような「文化財の保存を補助するために補助金を交付する」という条文は設けていません。震災遺産等を保全する上で発生する経費については、これから運用していく中で、該当する遺産ごとに検討していきたいと考えています。

問 震災遺産等の範囲として規定されている「その他の有形所産」や「教育、伝承等」において活用の価値を有するものは、本町に古くから伝わる伝統芸能等を想定しています。

答 教育総務課
「その他の有形所産」は、震災に関連するすべての有形物遺産を網羅したいということから規定させていただきました。

また「教育、伝承等」において活用の価値を有するものは、本町に古くから伝わる伝統芸能等を想定しています。

議員が切り込む!!

質疑応答

避難指示解除受け入れまでの経緯

全員協議会

①

平成29年1月10日、2月8日及び2月17日、富岡町役場 桑野分室で全員協議会を開催し、国より避難指示解除についての説明を受けました。

《避難指示解除に対する政府方針》 ※平成29年1月10日

【避難指示解除の時期】 平成29年1月 ⇒ 平成29年4月1日(国からの再提案)

【議員の意見】



- 町が目標として掲げる平成29年4月1日避難指示解除の提案を評価する。引き続き、丁寧な除染をしよう求める。
- 特急を含めたJRの運行再開や高速道路の4車線化、宅配便や新聞などの生活環境のさらなる充実を関係機関、業種に対して国から働きかけをしてほしい。

《国の説明》 ※平成29年2月8日

- フォローアップ除染は、1月末までに98%完了。引き続き除染を実施する。
- 常磐道の一部4車線化は、復興・創生期間(平成32年度まで)内での完成を目指す。
- JR常磐線は31年度内に富岡駅一浪江駅間が開通予定。特急の運行もJRと協議を進める。

【議員の意見】



- これまで求めてきた様々な要望に対して、避難指示解除後も継続して実施してほしい。
- 放射線量に対する不安が払しょくできていない。避難指示解除は時期尚早だと感じる。

《国の説明》 ※平成29年2月17日

- 避難指示が解除後も残された課題に責任を持って取り組むという合意文書を、町・県・国の三者で取り交わす。

【町長の判断】



- 居住制限区域及び避難指示解除準備区域の4月1日避難指示解除を受け入れる
- 様々な方々のご尽力により、町内生活環境が一定程度の状況になったこと
 - 一刻も早く古里での生活再開を望む方が少なからずいること
 - これ以上避難指示を継続すれば、古里を未来につなげることができなくなる

町の判断を受け止める

【総括】塚野芳美議長
避難指示解除の議論は、これまで幾度も全員協議会等を通じて、相当深まったと考えています。

町長から、古里を取り戻すという強い信念をもって、町内生活環境の更なる整備に取り組むとの力強い言葉もありました。

また、国より、複合災害からの復興を成し遂げる上で、残された課題にしっかりと向き合っていくとの考えが示され、確認書も取り交わすという方針も明らかとなりました。

避難指示の解除については、様々な意見があると思いますが、議会として町長の判断を受け止めたいと思います。

産業復興常任委員会

総務常任委員会

Q 防火対策の観点から、町道法面の枯れ草の除草を実施すべきでは。

A 現在、町道法面の除草については、手つかずの状態です。財源確保が難しい状況ではありますが、今後、産業振興課と連携を図り、適切に行っていきたいと考えます。

【復旧課】

Q 平成29年度の消防団の活動方針は。

A 消防団員が現実的にどう動けるかが重要であると考え、団員への意向調査を実施しました。その結果をもとに、方部ごとに仮の班を編成し、災害の規模に応じて招集する考えです。消防団員にはメールの一斉送信により、周知します。

【安全対策課】

Q 個人宅の放射線量調査を町もすべきでは。

A 町でも環境省の放射線量データを管理できるようにするとともに、町民から要望があれば現地に出向いて測定します。

Q 国の数値と比較する意味でも、町独自のモニタリング調査が必要では。

A 平成29年度からは復興推進課に放射線健康管理係が設置されますので、しっかりとした調査体制を構築したいと考えます。

【復興推進課】

Q 財物賠償残り1/6の支払いの進捗状況は。

A 東京電力ホールディングス㈱から「3月中には各個人宛に請求用紙が届くように準備を進めている」と報告を受けています。

【産業振興課】

Q 行政区の見直しを含めた町の考えを示しては。

A 当面は自治会を中心に運営していくのが現実的であると考えます。行政区のつながりが、町民にとって心のよりどころになっている部分もあると思いますので、存続させながら運営していきたいと考えます。

【総務課】

Q マイナンバーカードの申請状況は。

A 1月末現在で、申請率19.05%と県内で2番目に高い数値になっています。今後も全国に避難する町民の利便性向上のため、積極的に周知していきたいと考えます。

【住民課】

Q なかよし広場の遊具は、今後どうしていくのか。

A 調査を実施し、危険な遊具は撤去していく考えです。

Q 避難指示解除により公園に立ち入る方も増えることが予想される中で、遊具対策は早急に行うべきでは。

A 早急に調査を実施し、危険な遊具は使えなくするなどの対策を講じます。

【健康福祉課】

Q 平成30年1月の成人式に対するアンケート結果は。

A 対象180名中96名の方から回答をいただきました。その中で、半数を超える52名の方が町内での成人式開催を希望しているという結果が出ましたので、町内施設での来年1月開催を予定しているところです。

Q 着付け等も大変な状況が予想されるので、早めの周知が必要では。

A 決定次第、早急にお知らせしたいと考えます。

【教育総務課】

常任委員会とは、本会議前に各課の事務の執行状況それぞれの常任委員会が調査し、議案などを事前に審査したり、などを調査する場です。また、主要な事業について報告します。

より迅速で正確な 情報の公開を求める

平成29年2月28日に開催した原子力等特別委員会で、福島第一原子力発電所第1号機から4号機の廃止措置等に向けた中長期ロードマップの進捗状況と、福島第一原発における原子炉及び使用済燃料の冷却方法や故障・地震等で止まった場合のリスクなどについて、東京電力ホールディングス(株)より説明を受けました。

議員からは、今春に避難指示が解除され、町内に居住する町民も増える中で、より迅速で正確な情報公開をするようにとの強い要望が出されました。

問 現在の第一原発の状態、万が一、原子炉の水による冷却が長期間停止した場合でも、再臨界は起きないといえるのか。

答 東京電力(株)

水による冷却が長期間停止しても、燃料デブリは空気により冷やされて約600度程度に収まりますので、燃料が溶け出す温度の約2800度には上がらないと想定しています。

さらには、たとえ燃料が溶け出したとしても再臨界はよほどの条件が重ならないとおさませるので、再臨界の可能性は限りなく低いと考えます。

議員が切り込む!!
質疑応答

問 避難指示解除を間近に控えた今、新聞等で「原子炉格納容器内の放射線量が過去最高を記録した」などの報道がなされると町民は不安に思う。町民の心情に配慮したより正確な情報公開が必要では。

答 東京電力(株)

今回の過去最高の放射線量というのは、原子炉内の数値であり、周辺環境に影響を与えるものではありません。

ただ、今回のような説明の仕方や情報の出し方は会社として深く反省し、町民の皆さまの目線に立ったわかりやすく、正確な情報の公開に努めます。

追跡
れぽーと



あの件はどうなった?

追跡①

問 定期的な放射線勉強会を開催すべきでは

答 段階的に実施する

(平成26年3月定例会 遠藤一善議員一般質問)



各地で勉強会を開催

勉強会を積極的に開催、
放射線情報の発信を強化

- 放射線勉強会を開催
《実績》平成27年度 6回 81名
平成28年度 3回 91名
- とみおか放射線情報まとめサイトを開設



放射線情報をまとめて掲載

追跡②

問 動画等を利用した情報発信をすべきでは

答 町への思いを持ち続けられる情報発信を行う

(平成27年3月定例会 堀本典明議員一般質問)

様々な方法で情報発信
(Facebook, You Tube, アプリ)

- 富岡町の情報を…
- 迅速に伝えるFacebook
 - 動画で伝えるYou Tube
 - 詳細に伝えるアプリ

※「とみおかアプリ」に関するお問い合わせ先
とみおかアプリサポートセンター
☎0570-051-030(平日9:00~18:00)



2,395人が「いいね！」
(平成29年4月10日現在)



平成28年6月開設



平成29年3月アプリ配信
(QRコード：アプリ利用案内)

格納容器内部・海底土壌の現状は

議員より、当町が避難指示解除を受け入れるにあたり、福島第一原子力発電所の廃炉状況を改めて確認すべきとの意見が出されたことから、平成29年3月27日に原子力等特別委員会を開催し、廃炉・汚染水対策最高責任者より、福島第一原発の現状について、詳細な説明を受けました。

議員は、格納容器内部の現状や汚染水・海底土壌対策について説明を求めました。また、原発廃炉計画は長期に及ぶ作業であるため、技術の継承や後継者の育成を求める声が聞かれました。

問 溶け落ちた燃料が格納容器を突き抜けているのでは。

答 東京電力(株)

格納容器とその下にありコンクリートは合わせて10m以上の厚さがあり、一番被害が大きいと思われる1号機でも50センチほど燃料がめり込んでいるという評価であり、また外部のモニタリング調査でも影響は見られませんので、格納容器内に留まっていると考えます。

問 港湾内の海底土壌の汚染状況と対策は。

答 東京電力(株)

港湾内には放射性物質が沈殿しており、海底の砂に吸着していると考えられます。これを舞い上げさせないために、30センチほどの被覆を行い、絶対に港湾外に出さないような対策を講じています。

復興へのあゆみ

昨年行った意見交換会や様々なイベント等で、『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、皆様の先が見えない不安を富岡町の現状を

町民の方から多く聞かれるのは『富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。少しでも解消できるように、お伝えします。

2 双葉警察署が業務を本格再開



これまで臨時庁舎として一部業務を再開していた双葉警察署が、4月1日より業務を本格再開しました。

3 郵便局が業務を再開



富岡郵便局が4月5日より業務を再開しました。郵便窓口の営業時間は9:00~17:00までです。



1 『さくらモールとみおか』グランドオープン

これまで一部営業を開始していた『さくらモールとみおか』が3月30日に全館開業しました。連日多くの方が詰め掛け、大きなにぎわいを見せています。



グランドオープンセレモニー



生鮮食品・日用品 等



医薬品・化粧品 等



建築・作業資材 等

フードコート
毎日おいしい
お食事を提供



惣菜・カレー・弁当



ラーメン・親子丼 等



そば・うどん・定食

ちよとひとと

みなさまの声

平成29年4月8日、震災後初めて富岡町を会場として開催された復興の集いには、県内外から多くの方が訪れ、大きなにぎわいを見せていました。

復興イベントでは、6年ぶりに桜並木の下でよさこい踊りを華麗に踊っていただきました。

《未来を約束できる場所ができた喜び》

チーム富岡さくらYOSAKOI 代表 伊藤 孝さん

私は踊りの最後に『来年また会いましょう』と言いました。全国各地でよさこいを踊っている私たちが、富岡町で『また今度』と未来を約束できる言葉を言えたことをとてもうれしく思っています。今後は、遠く離れていても、富岡の桜とよさこいを見にいきたいと思ってもらえるような、町民とふるさとをつなぐ絆のようなイベントになることを切に願っています。

最後にもう一度、言わせてください。来年も富岡の桜のもと、みんなでまた会いましょう。



チーム富岡さくらYOSAKOI



とみおかWASSE

《『富岡で踊りたい』という思いがひとつに》

とみおかWASSE 代表 松井 好子さん

震災後、メンバーはそれぞれに避難し、チームも解散してしまいました。しかし、今回、富岡の復興の集いでよさこいを踊るといってお話をいただいた時、メンバーみんなが『富岡で踊りたい』という思いで一つになりました。全体練習は1回しかできませんでしたが、多くの皆さまの前で、元気に楽しく踊ることができて本当にうれしかったです。このような機会があれば、またぜひ踊りたいです。

議会を傍聴しませんか？

- 6月定例会は、13日(火)・14日(水)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所・氏名・性別・年齢(○歳代)を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



委員
渡辺英博

委員
遠藤一善

委員
高野匠美

副委員長
渡辺高一

委員長
堀本典明

議会報編集特別委員会

発行責任者
議長 塚野芳美

3月定例会が富岡町で開催されました。6年間の歳月は長いもので、富岡町の議場の議案審議は半数以上の議員が初めての事でした。議会は一步、本来の姿に近づいたわけです。

富岡町は4月1日より、帰還困難区域を除く地域が避難指示を解除されました。町の復興も新しいステージに立ったと言えます。まだまだ多くの課題が残されており、今後、長期にわたる本格的復興が必要です。

町と議会は車の両輪として、魅力的な町づくりを目指し、全力で復興に取り組んでいきます。

(渡辺 英博)

編集後記

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



富岡町公式
ホームページ



富岡町

で 検索